

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は、2023年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項に従って行う。
- 2 競技者の招集について
 - (1) 選手招集場所は、全種目において現地（スタート地点・各競技場所）集合とし、現地での点呼をもって招集完了とする。
 - (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、全てその競技の開始時刻を基準とし、下記の通りとするが、出場人数によって変更もあるので、タイムテーブルを確認すること。競技者係の指示で整列し、チェックを受ける。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	15分前	10分前
フィールド競技	45分前	30分前

- (3) 招集方法

- ア 競技者は、出場種目の招集開始時刻に、現地（スタート地点・各競技場所）でアスリートビブス（ナンバーカード）を競技者係に示し、種目名・組・レーンのチェックを受ける。予選を通過し、決勝に進出した場合は、事前に組・レーンなどを確認しておくこと。
- イ 個人種目とリレー競技の招集時間が重なった競技者については、招集は本人のみで、代理人による招集は認めない。ただし、事前にその旨を競技者係及びフィールド審判員に申し出て、競技に参加すること。
- ウ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなす。

- 3 トラック競技について

- (1) 同じ種目でも、組によって招集時刻が異なるので注意する。
- (2) トラック競技の出場者は、各チームで用意した腰ナンバー標識をユニフォームの右腰やや後ろにつける。
- (3) 事故防止のため、短距離ではフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走る。
- (4) リレーのオーダーは、1組目招集完了時刻の60分前までに競技者係に提出するものとする。時間までに提出されない場合は、棄権とみなす。
リレーでは、バトンパスが終わったら、自分のレーンのマークをはずすこと。なお、マークは主催者側で準備したものを使用すること。
- (5) トラック競技の決勝の走路順は本部抽選とする。
- (6) トラック競技のプラスアルファが、規定数より多いときは、0.001秒以上の差が認められれば、着差ありとして決定する。この結果、まだ同成績がいる場合には、本部での抽選によって決定する。ただし、レーンに余裕がある場合は、同記録者の着差判定は行わず、次のラウンドに進めるようにする。
- (7) A B決勝のある種目は、予選のタイム上位8名がA決勝、9～16位がB決勝となり、表彰者はA決勝が対象となる。
- (8) 男女800m以上の種目は、安全確保のため、階段スタートで行うこともある。
- (9) 本大会のスタートについては、第162条5を適用せず、不適切行為を注意にとどめる。但し、不適切行為が繰り返し行われる等、悪質なものは、第125条5および第145条2を適用し、失格とする。

- 4 フィールド競技について

- (1) B男子走幅跳については、予選を行う。予選通過標準記録は、5 m20とする。
- (2) 走幅跳および走高跳は各1・2ピットを使用する。また、走幅跳においては、出場者数により2組の時間差スタートすることもあり得る。
- (3) 走高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。（当日の天候などによる変更有り）

男子A	走高跳	（練習 1 m45）	1 m50（以後 5 cm上げ）	1 m75以後 3 cm上げとする。
男子B	走高跳	（練習 1 m30）	1 m35（以後 5 cm上げ）	1 m50以後 3 cm上げとする。
女子A	走高跳	（練習 1 m25）	1 m30（以後 5 cm上げ）	1 m50以後 3 cm上げとする。
女子B	走高跳	（練習 1 m05）	1 m10（以後 5 cm上げ）	1 m30以後 3 cm上げとする。

- (4) 棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。(当日の天候などによる変更有り)
男子 2 m00開始 (以後20cm上げ) 2 m60以後10cm上げとする。
女子 1 m60開始 (以後20cm上げ) 2 m00以後10cm上げとする。
- (5) B男女走幅跳、B男女砲丸投、共通男女円盤投、共通男女ジャベリックスローにおける計測ラインは、下記の通りとする。(当日の天候などによる変更有り)
- | | | | | | | | | |
|----|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----------|-------|
| 男子 | 走幅跳 | 5 m00 | 砲丸投 | 7 m50 | 円盤投 | 12m00 | ジャベリックスロー | 20m00 |
| 女子 | 走幅跳 | 4 m00 | 砲丸投 | 7 m50 | 円盤投 | 12m00 | ジャベリックスロー | 18m00 |

5 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内とし、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) トラック種目の靴底の厚さは、800m未満の種目では20mm以内、800m以上の種目では25mm以内とする。
- (3) フィールド種目の靴底の厚さは、20mm以内とする。

6 その他

- (1) 8位までの入賞者には賞状を授与する。優勝者には「チャンピオンTシャツ」を授与する。(大会当日にサイズを記入し、新人戦大会で配付予定)
- (2) 表彰は実施せず、大会本部にてチームの引率者が代わりに賞状を受け取る。
- (3) 競技者以外の者は、絶対に競技場内に立ち入らないこと。(特に、本部前、フィニッシュ付近は通行禁止とする。)
- (4) リレーの練習で使用したマークは、各団体に責任をもって処分する。自分のゴミは、持ち帰ること。(ペットボトルや缶も必ず持ち帰ること。ゴミ箱は使用できない。)
- (5) スタート・フィニッシュ付近では、静かにする。
- (6) 競技の進行上、競技開始時刻などに変更が出る場合もあるので、放送を聞きもらさぬように注意すること。
- (7) 競技場に練習用の個人器具を持ち込むことは禁止する。(棒高跳のポールを除く)
- (8) 主競技場のメインスタンドはテントの設置は禁止とする。テント等を設置する場合は、サイドまたはバックスタンドのみ可能とするが、風で飛ばされたりしないよう十分注意すること。
- (9) 競技場に商品名のついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。競技役員から指摘・指導された場合は、その指示に従い、必ずテープ等を貼って隠すこと。
- (10) 競技中の事故については、主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (11) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管する。また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意すること。